

今週のビルマのニュース  
2010年1月22日【1003号】

**アウンサンスーチー氏の上告審が結審**

・ビルマの最高裁判所で18日、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏の上告審の最終弁論が行われた。弁護人によれば判決は1か月以内に出る可能性がある。上告は、昨年5月に、湖を泳いで渡ってきた米国人男性を自宅に入れたことを理由に氏が有罪判決を受けたことに対するもの。控訴審では有罪判決が支持された(20日AFP)。

**キャンベル米国務次官補「辛抱にも限界がある」**

・キャンベル米国務次官補は、日米安保条約改定署名から50周年の19日に国務省で記者会見を行った。ビルマについて、昨年11月に同国を訪問して以来どのような進展があったかとの質問に対し、「その後ビルマ当局と直接接触したし、近い将来、改めて会談することを検討すると思う。ビルマ側では進展も見られたが、アメリカ人がビルマで拘束されていることを含めて未解決の問題もある。(ビルマの民主化改革を促すため、制裁措置を続けると同時に軍政と直接対話を始めるという)新しい方針の下で行動するにあたり、辛抱強くなければならないことはわかっていたが、辛抱に限界があることも事実だ。ビルマ軍政にはしかるべき時に(民主化や人権保護に向けた)はっきりとした道筋を示してもらいたい」と述べた(19日国務省記録)。

**日緬外相会談 総選挙次第で経済協力拡大も**

・岡田外相は17日、FEALAC外相会議出席のため来日したビルマのニャンウイン外相と会談し、総選挙までにアウンサンスーチー氏を含む全政治囚を解放すること、総選挙をすべての関係者が含まれる形で自由・公正に行うことを強く期待すると述べた。また昨年11月の日緬首脳会談以降、アウンサンスーチー氏が軍政の連絡担当相と4回会い、国民民主連盟(NLD)幹部と面会したことを「前向きな動き」として評価した。これに対しニャンウイン外相は「間もなく制定予定の選挙関連法の規定に則り、どの政党もどの個人も選挙に参加できるようにする。NLDが選挙に参加することを期待する」と述べた(外務省発表概要)。

・同じ会談で、ビルマへの経済協力について岡田外相は「総選挙のあり方次第では一層大きな協力が出る。総選挙が国際社会との関係において成功するよう期待する」と述べた。昨年11月の日緬首脳会談で鳩山総理は、総選挙が「我々の期待する方向で行

われれば...様々な支援を強めていくことができるようになる」と述べている(同)。

**ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など**

草の根無償資金協力

- ・マンダレー管区 盲学校建設、約9万7,000米ドル(15日)
- ・ヤンゴン 僧院学校建設、約9万米ドル(13日)

**イベント情報**

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、18~22日 15~16時)

・公開セミナー「検証：ODAを問う～メコン開発から見た環境と人権への影響」主催：メコン・ウォッチほか。内容は「ビルマ(ミャンマー)～日本の援助が軍政ではなく国民を支えるためには」等(人権教育啓発推進センター、23日 13時半～)要申込

・第59回ビルマ市民フォーラム例会 詳細後日(池袋・ECOとしま8階、2月6日 18時～)

**新刊など**

・宇田有三『閉ざされた国ビルマ』カレン民族闘争と民主化闘争の現場をあるく(高文研)発売中

・発売中のカタログハウス「通販生活」2010年春号、ジェーン・バーキンさんといとうせいこうさんがビルマ民主化について対談。根本敬・上智大学教授による解説記事も。

**もっと詳しい情報は**

☆Twitter公式アカウントはこちらです  
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)  
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

**お問い合わせ**  
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165